

講義コード	11C0128700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	外木 好美	開講期	第2期
科目名	特殊講義〈企業の経済学B〉								
履修前提条件						備考			
授業の目的	企業がなぜ存在するのか、どのように行動するのか、どう組織化されるのかといった企業の問題を、経済学的に分析します。企業分析の道具としての経済理論を理解し、その上で、企業戦略や企業組織について、現実データも織り交ぜて学習します。この授業「企業の経済学A」と第2期の「企業の経済学B」は、セットで履修するようにしてください。「企業の経済学A」では、企業の基礎理論や企業戦略を中心に学習します。「企業の経済学B」では、企業組織や労働システムについて学びます。								
到達目標	イノベーション戦略と日本における企業組織の様々な特徴を、理論的に解釈しながら、理解を進めます。①知識の公共財的性格を知り、イノベーションの在り方について理解しましょう。②なぜ個々人でその仕事を売買せずに企業という集団でおこなうのか、企業の存在意義を理解しましょう。③企業の成長の方向性として、水平的、垂直的、多角的成長があることを知り、その特徴を理解しましょう。④垂直統合や多角化を行う効果について理解しましょう。⑤日本企業間の関係として特徴である企業集団や系列とは何か、そしてその役割について知りましょう。⑥合併・買収・提携がどういったことを目的として行われるのかを知りましょう。⑦終身雇用や年功序列賃金制の意味を知り、技能形成の在り方を理解しましょう。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業では、理論モデルを多く扱います。授業では、理論モデルの構造やその直感的意味を解説します。理論モデルは、実際に自分で手を動かして解いてみると理解が深まります。授業後に、教科書を自分なりにまとめながら、定着をはかりましょう。その際、現実経済の具体的な事例をインターネットや新聞等で調べましょう。企業の在り方は様々です。企業を調べる際の視点・視野を広げてください。(計60時間以上)								
授業計画	【第1回】イノベーション戦略(1) 【第2回】イノベーション戦略(2) 【第3回】イノベーション戦略(3) 【第4回】企業はなぜ存在するのか(1) 【第5回】企業はなぜ存在するのか(2) 【第6回】垂直統合(1) 【第7回】垂直統合(2) 【第8回】多角化・多国籍化(1)				【第9回】多角化・多国籍化(2) 【第10回】会社の形態 【第11回】合併・買収・提携 【第12回】労働システムとインセンティブ(1) 【第13回】労働システムとインセンティブ(2) 【第14回】労働システムとインセンティブ(3) 【第15回】まとめ				
成績評価の方法	各章の課題の提出と期末試験で成績を評価します。								
フィードバックの内容	各章に復習問題があり、課題として提出してもらいます。主な内容は、各章のポイントの整理、具体的事例を挙げるといったものです。講義後に、解答する時間があります。その際に、先生に質問をしながら解いてください。具体的な事例を能動的に調べることで理解が深まりますので、調べ方等も併せて質問してください。								
教科書	『企業経済学(プロGRESS経済学シリーズ)』小田切 宏之(東洋経済新報社)2010								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	授業後に、積極的に声をかけてください。皆さんからの「あの企業はどうですか?」「あの商品ってどうなんですか?」という質問は、先生にとっても非常に楽しいです。								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								